



株主のみなさまへ

第69期 報告書

2018年7月1日～2019年6月30日



TAKAMISAWA
株式会社 高見澤

証券コード：5283



代表取締役社長
高見澤 秀茂

株主のみなさまには平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第69期報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当期において当社グループを取り巻く経済環境は、世界的には米中間の貿易摩擦が激しさを増し、加えて英国のEU離脱問題による混迷等があり先行き不透明な状況でありましたが、国内経済は企業収益、雇用所得環境等の改善が進む中で、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、公共工事や民間工事は低調に推移し予断を許さない経済状況が続いております。

また、本年4月に施行された働き方関連法案で、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得義務など経営環境は柔軟な対応を迫られています。

このような情勢のもと、当社グループは、積極的

～経営理念～

顧客・社員・株主・地域社会に必要とされ、
信頼され、貢献でき、存在感のある
良い会社（グッドカンパニー）を目指す。

な営業活動と徹底的なコスト管理により収益の拡大に努めてまいりました。

この結果、グループ全体では経常利益は減益となったものの、売上高、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期を上回る結果となりました。

今後、当社グループを取り巻く経営環境は、消費増税による消費の落ち込みなど懸念材料があり、先行き不透明な状況が続くものと予想されますが、コンプライアンス経営に重点を置き、安定収益を確保できる経営基盤の確立を全社一丸となって取り組んでまいる所存でございます。

なお、期末配当金につきましては、1株につき25円とさせていただきますのでご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年9月

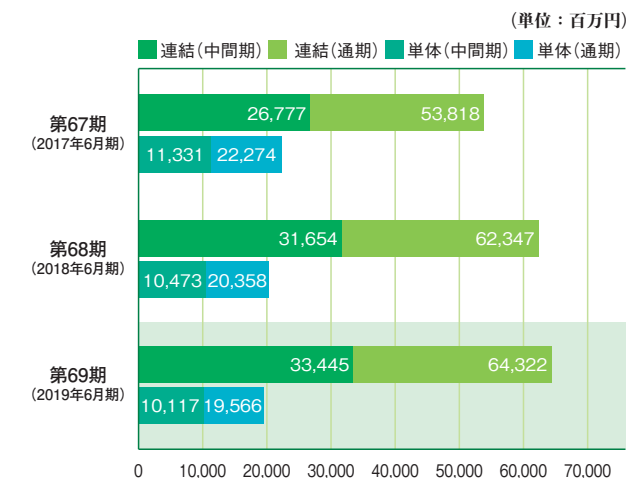
Point

- ・建設関連事業は、公共工事及び民間工事が低調に推移し減収
- ・電設資材事業は、民間企業の設備投資需要及び公共工事の受注増で増収
- ・カーライフ関連事業は、原油価格の高騰に伴う油価の上昇及び新車販売が好調に推移し増収
- ・住宅・生活関連事業は、農産物の販売量の増加及び建売分譲物件の取扱いの増加により微増

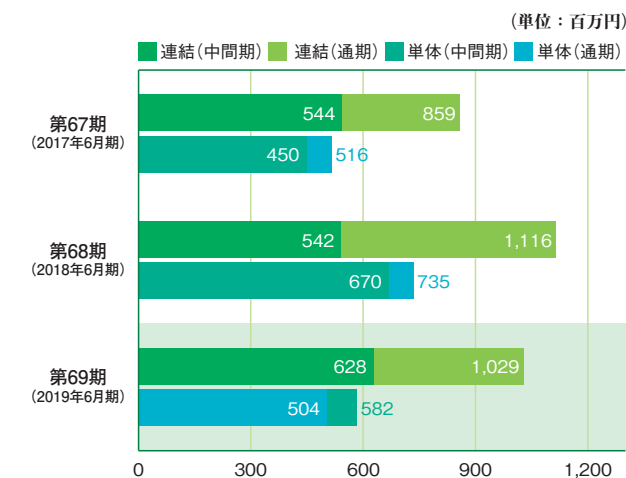
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境の改善等を背景に、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、個人消費の回復は鈍く、また米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題などで世界経済の減速懸念が強まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中にあって、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高64,322百万円（前連結会計年度比3.2%増）、営業利益999百万円（前連結会計年度比5.2%増）、経常利益1,029百万円（前連結会計年度比7.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益624百万円（前連結会計年度比149.9%増）となりました。

売上高の推移



経常利益の推移

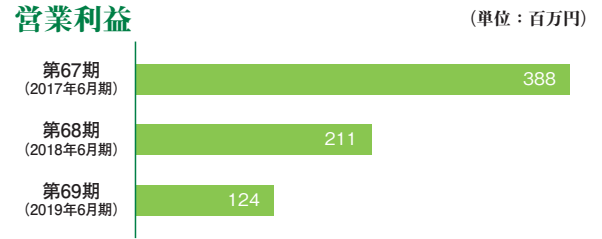


建設関連事業



公共工事及び民間工事が低調に推移し減収となり、また売上に占める高付加価値製品の納入比率が低下したことに加え、運送費等が膨らんだことにより減益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は9,937百万円（前連結会計年度比6.1％減）、営業利益は124百万円（前連結会計年度比41.0％減）となりました。



電設資材事業



民間企業の設備投資需要に対し積極的に受注努力し、また公共工事の受注も増加したことにより増収増益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は29,415百万円（前連結会計年度比7.3％増）、営業利益は475百万円（前連結会計年度比1.6％増）となりました。

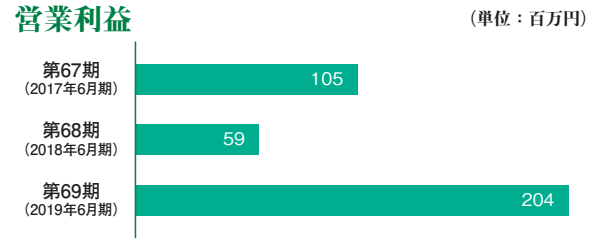
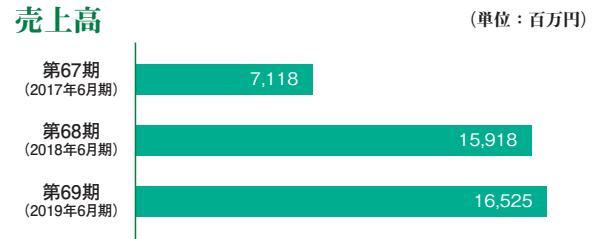


カーライフ関連事業



石油部門では、原油価格の高騰に伴う油価の上昇により増収となり、コスト削減と不採算給油所の閉鎖により増益となりました。オート部門では、中古車販売は伸び悩んだものの、新車販売が好調に推移し増収増益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は16,525百万円（前連結会計年度比3.8％増）、営業利益は204百万円（前連結会計年度比241.8％増）となりました。

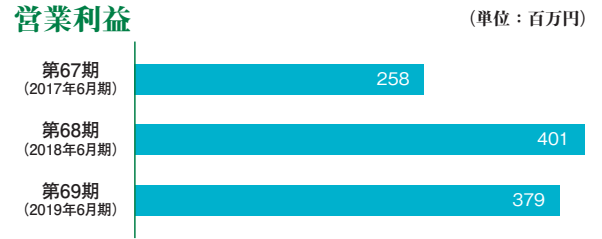


住宅・生活関連事業



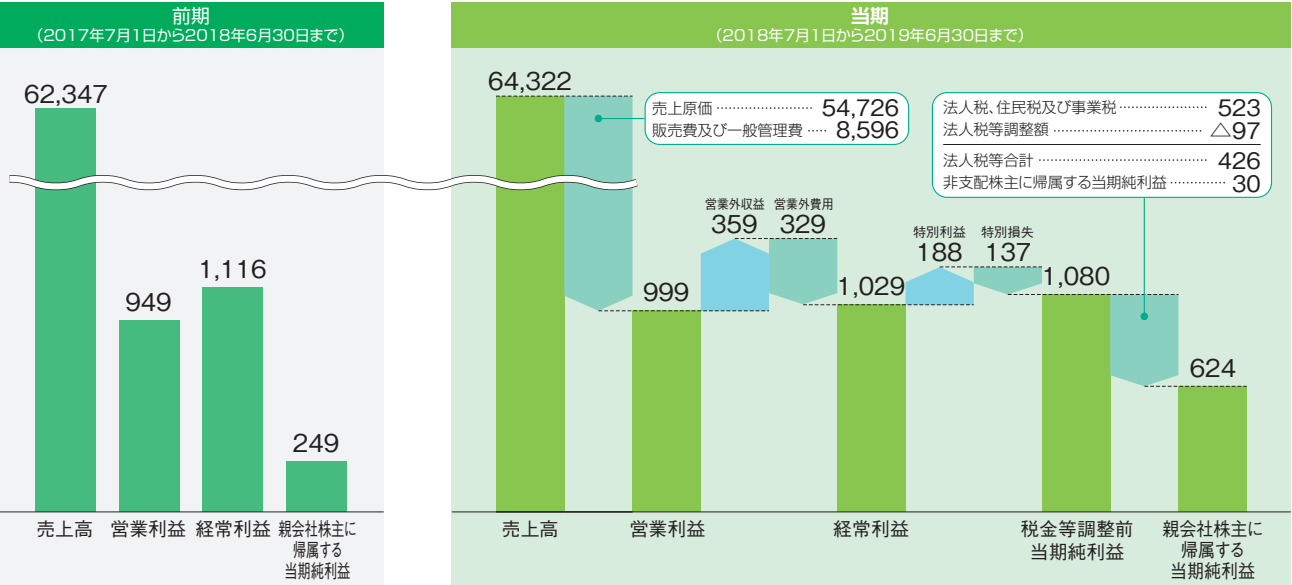
主な事業として、農産物部門では、きのご培地の販売は順調に推移したものの、きのご加工品の製造に係る経費が膨らみ増収減益となりました。不動産部門では、建売分譲物件の取扱いが増加し、増収増益となりました。

この結果、住宅・生活関連事業の売上高は8,444百万円（前連結会計年度比0.1％増）、営業利益は379百万円（前連結会計年度比5.4％減）となりました。

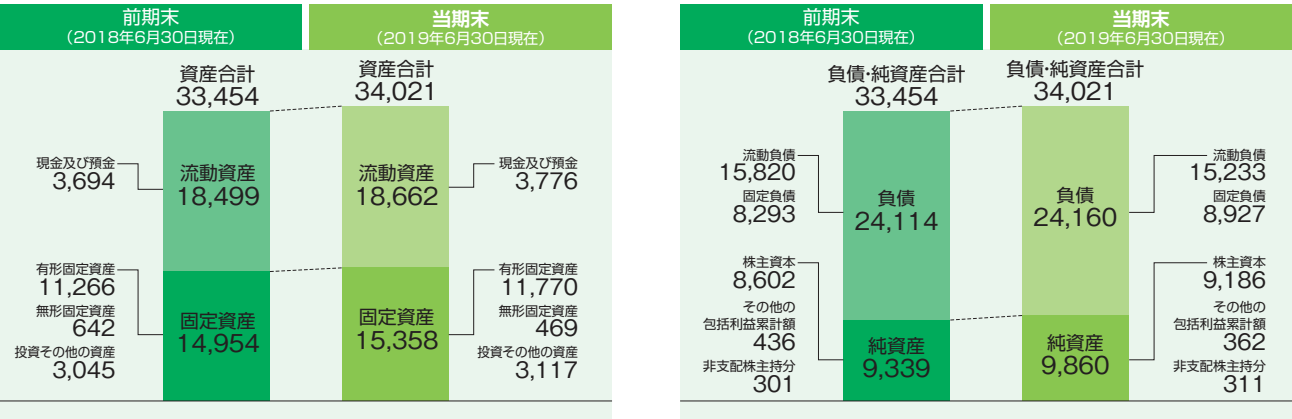


連結財務諸表

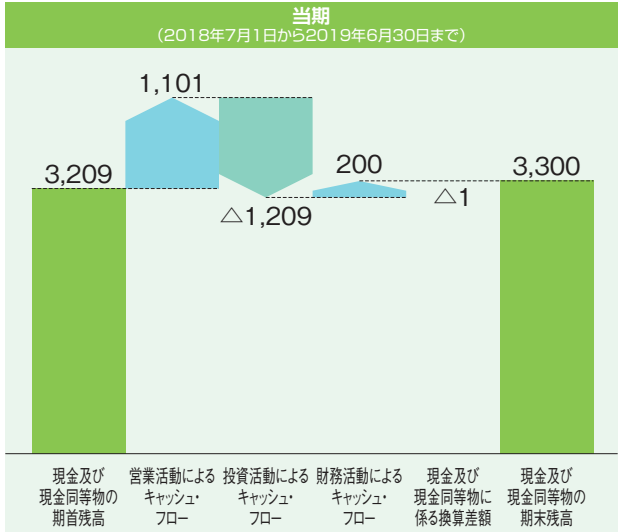
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



科 目	前 期 (2017年7月1日から 2018年6月30日まで)	当 期 (2018年7月1日から 2019年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,086	1,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 630	△ 1,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 589	200
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△ 1
現金及び現金同等物の増減額	867	90
現金及び現金同等物の期首残高	2,341	3,209
現金及び現金同等物の期末残高	3,209	3,300

Point 連結損益計算書

受取補償金
在外連結子会社である溜博高見澤混凝土有限公司において、旧工場の移転補償金として特別利益（167百万円）を計上しております。

事業整理損
在外連結子会社であった烟台市長野建材有限公司の事業撤退等中国事業の縮小に伴い、特別損失（49百万円）を計上しております。



株主優待のお知らせ

当社は株主さまご優待として、特産事業部で製造販売している「なめ茸「志賀の郷」」をお送りしております。日本一の産地として有名な長野県中野市の採りたての新鮮なえのき茸を、信州産丸大豆を使った杉桶天然醸造醤油でじっくりと煮込んだ贅沢ななめ茸です。ぎっしり詰まったえのき茸の歯ごたえと、6種類の味をご賞味していただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。



対 象 株 主	贈 呈 内 容
2019年6月30日現在 200株以上ご所有の株主さま	1名様につき なめ茸「志賀の郷6本セット」を贈呈



お問合せ先
株式会社 高見澤 総務部
Tel (026)228-0111 Fax (026)227-8046

昭和電機産業株式会社新社屋完成



新社屋

長野県を中心に甲信越エリア18拠点を軸としたネットワークを展開し、電設資材と産業用機器の総合商社として、多様化するニーズに応え事業展開をしている昭和電機産業が、創立70周年を迎え、完成した新社屋とともに新しい時代を歩み始めました。

終戦から3年後の1948年9月、長野市南石堂町に二間間口の借家を社屋に開業し、その後1967年7月、現在の長野市三輪荒屋に新社屋を移転し事業を続けてまいりました。

開業当時は3名だった社員もこの三輪荒屋への移転時には100名程に増えていました。

現住所へ移転してから50年余り経過した2018年4月、翌年2月の新築・移転を目指し工事を開始しました。工事開始から約9か月を経て2019年1月新社屋が完成。

道路面はガラスカーテンウォールとして地域のランドマークとなることを目指し、美しく印象的な外観コンセプトとなっています。窓にはLOW-E複層ガラスを採用し断熱効果を高め、エネルギーマネジメントシステムを採用して空調機器を制御し、電力の効率利用と快適なオフィス空間の両立を図るつくりになっています。

真新しい環境でこれから良い仕事生まれることを期待し、次世代の昭和電機産業を担う仲間たちのオフィスとして位置づけ、業界全体が変革する時代にあることを見据えながら、情報商社としての役割を果たせるよう全社一丸となってこれからも挑んでまいります。

住 所 長野県長野市三輪荒屋1154
敷 地 面 積 4,334.96㎡
 延べ面積3,630.48㎡
工 期 2018年4月～2019年1月
新社屋完成 2019年1月29日



旧社屋

コンクリート事業部 御嶽山 火山退避壕納入



2018年7月、コンクリート事業部において御嶽山・火山退避壕を納入し、同年9月末に竣工いたしました。2007年10月に浅間山に納入した火山退避壕に続き事例2件目となります。

今回、弊社が製造・納入したのはボックス型のプレキャスト退避壕3基で、サイズは幅2.2m×高さ2.0m×奥行4.0mで壁圧は20cm。噴火時に飛来する恐れがある、こぶし大（10cm）の噴石が多数衝突しても耐えられる強度を有しており、1基あたり約30名が退避できます。

国内には安全対策が遅れている火山が多いといわれています。御嶽山・浅間山に火山退避壕を納入した実績・経験を踏まえ、今後も安全・安心の確保に寄与できればと考えております。



会社概要 (2019年6月30日現在)

商号	株式会社高見澤
設立	1951年3月29日
資本金	1,264,300,000円
従業員数	370名
事業部、営業所等	37拠点

役員 (2019年9月26日現在)

代表取締役社長	高見澤 秀 茂	常務取締役	久 保 輝 明	常勤監査役	大 井 文 成
専務取締役	赤 沼 好 宏	取締役	小 林 茂 勝	社外監査役	錦 澤 裕
専務取締役	高見澤 雅 人	取締役	千 野 巳 明	社外監査役	金 子 肇
常務取締役	佐 藤 倫 正	取締役	高見澤 尊 昭		
常務取締役	原 山 稔 明	取締役	小 林 正 樹		
常務取締役	米 山 剛	社外取締役	松 本 清		

グループ会社 (2019年6月30日現在)

社 名	資本金
昭和電機産業株式会社	750百万円
直江津臨港生コン株式会社	50百万円
オギワラ精機株式会社	10百万円
株式会社アクリトライ	44百万円
信州電機産業株式会社	40百万円
株式会社ナガトク	10百万円
株式会社セイブ	10百万円
株式会社スマイルハウス	20百万円
上燃株式会社	10百万円
淄博高見澤混凝土有限公司	3,200万元

ホームページのご案内

<https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

当社グループのさまざまな情報は
こちらでもご覧いただけます。



株式の状況

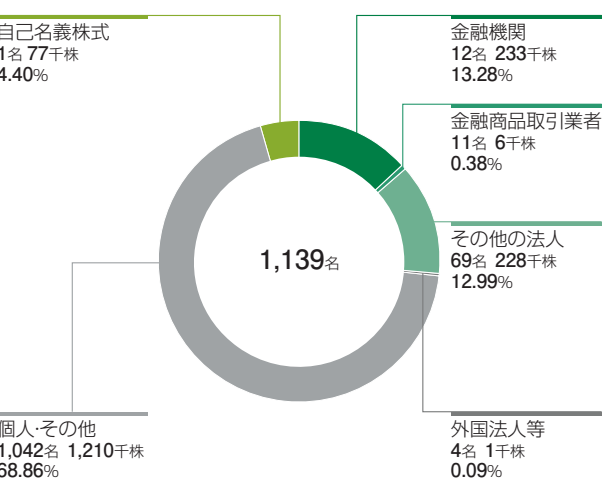
発行可能株式総数…………… 3,783,000株
発行済株式の総数…………… 1,758,400株
1単元の株式数…………… 100株
株 主 数…………… 1,139名 (前期末比20名減)

大株主 (上位10名)

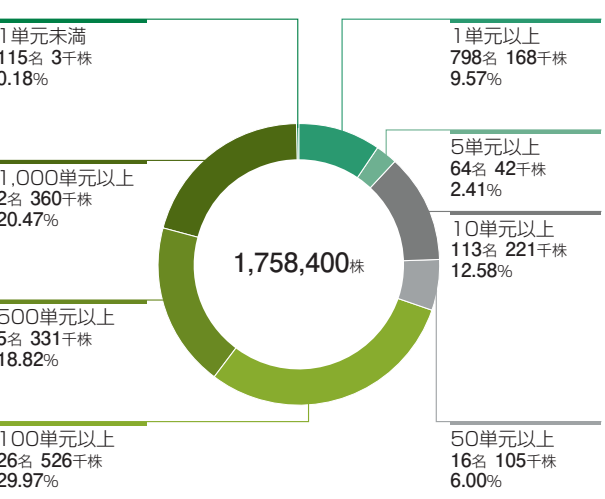
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
高見澤秀茂	225	13.39
高見澤尊昭	135	8.03
株式会社八十二銀行	83	4.95
高見澤豊子	62	3.74
高見澤雅人	57	3.43
長野県信用組合	50	2.97
内藤征吾	48	2.89
高見澤吉晴	42	2.50
高見澤達郎	35	2.09
高見澤 洋	35	2.09

(注) 1. 当社は自己株式77,383株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日
	そのほか必要ある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・郵送先	(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-7111 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。 公告掲載の当社のホームページアドレス https://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。